

2009.5



編集発行：(財)神戸いきいき勤労財団

神戸市シルバー人材センター

〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目3-1(サンパル10階)

●東部センター/857-3601 ●西区センター/993-0066

●中部センター/521-8000 ●北区センター/596-3181

●西部センター/621-6880 ●本部/252-0316

電話番号はおかけ間違いのないようお願いします

ホームページ <http://www.kobe-sjc.or.jp>

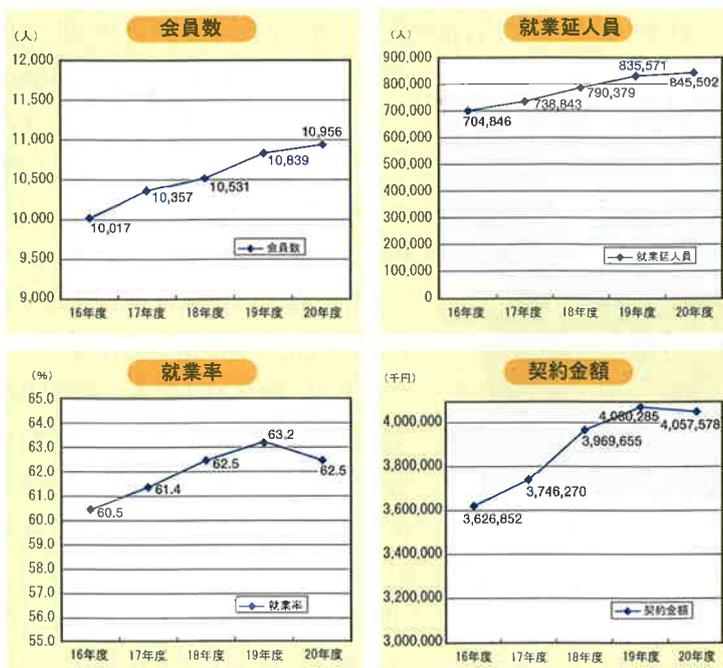
平成20年度の事業実績

当センターは、昭和57年2月に高齢者の就業機会の提供と生きがいづくりを目的に設立されて以来、毎年順調にその実績を伸ばしてきました。

平成20年度の実績は、会員数10,956人(前年度10,839人)は昨年を超えましたが、契約金額4,057,578千円(前年度4,080,285千円)、就業実人員6,851人(前年度6,852人)、就業率62.5%(前年度63.2%)は昨今の急激な経済情勢の変動など厳しい状況の中、それぞれ昨年の実績をわずかに下回る結果となっております。(グラフ参照)

平成20年度においても、会員みなさま一人ひとりの誠実で意欲的な就業への取組みは、発注者に高く評価され、センター全体の評価・信頼につながっております。

今後とも、積極的に就業開拓・PRに努め、一人でも多くの会員の方に就業していただけるよう努力してまいりますので、引き続き、みなさまのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。



今年度のおもな行事予定

行 事	実施時期など
安全就業強化月間	7月1日から31日までの1ヶ月間
交通安全講習会	9月予定、詳細は7月号でお知らせします。
いきいきシルバーのつどい	9月上旬予定、詳細は7月号でお知らせします。
福祉・家事援助サービス基礎研修	10月予定、詳細は7月号でお知らせします。
シルバー普及啓発促進月間・会員増強月間	10月1日から31日までの1ヶ月間
植木・剪定講習会	10月予定、詳細は7月号でお知らせします。
健康増進研修会	10月予定、詳細は9月号でお知らせします。
子育て支援サービス研修	11月予定、詳細は9月号でお知らせします。

配分金支払日のお知らせ

4月分	5月分	6月分	7月分	8月分
5月20日(水)	6月15日(月)	7月15日(水)	8月17日(月)	9月15日(火)



水を得た魚のように

株式会社 メッセージ
Cアミーユ神戸新長田

JR新長田駅から徒歩5分、国道2号線沿いにCアミーユ神戸新長田があります。8階建て高齢者専用の賃貸住宅です。Cアミーユ介護事業部神戸新長田担当マネージャーの久保利通さんにお聞きしました。

「当住宅は総戸数128戸で平成20年4月にオープン、現在70人が入居されています。高齢で一人暮らしが難しくなった人や要支援1、2、要介護1～5を受けている人を対象とし、入居者が安心して暮らせる住まいとなっています。

1階には喫茶コーナーを設け、シルバー会員の喜田訓代さんには、オープン当初から来ていただいています。週に4日(月、水、金、日)午後2時から5時までの就業で、お茶を出したり、来店の入居者の話し相手をされています。喫茶コーナー(無料)は入居者



Cアミーユ神戸新長田

唯一の憩いの場で、常時5～6名の方がお喋りに来ています。彼女はお年寄りとのコミュニケーションのとり方がお上手で会話も弾み、当方としてもありがたく思っています。

当社には156施設ありますが、喫茶コーナーを設けるのは初めての試みであり、評判がよければ、他の事業所への展開を考えています。その意味でも喜田さんの貢献度は非常に大きいと思います」。



会員の喜田さん

喜田さんは「最初のうちは、入居者の皆さんとどう向き合っていけばよいか、手探りの状態でしたが、慣れるに従い気心がわかってきて、今では私のほうが元気をもらっています。働きよい職場でとても気に入っています。入居者だけでなくその家族やお友達を含めてお誕生会を開いたり、昨年のクリスマスパーティーには30数名の方が参加してくださり、喫茶室に入りきれなくなって、食堂をお借りする事になりました。開催の準備には皆さんの意見を聞きながら企画し、飾り付けを手伝っていただき、大いに盛り上がりました。とても嬉しかったです」と話されていました。

来店の入居者Aさんにお聞きしました。「彼女は何事にも前向きで、喫茶室の入り口にお花を活けたり、衣装も毎日替えられてオシャレに気を配って対応してくれるので、私たちの心を明るくしてくれていますよ」と。

Bさんは「私たちは毎日のように喫茶室に来て1時間ほどお喋りをしています。1日のうちで一番楽しいひと時ですわ」。

彼女はほんとうに「水を得た魚のように」いきいきと働いていて、今の仕事にピッタリはまっていると、感じました。



入所者のみなさんと



食堂

人生遊歩 シルバーを楽しく

新しい街にふれあいを生み出すボランティア

西区 島原文男さん

今日も朝夕、街頭に立って児童の登下校の安全を見守る島原さんの姿は、子どもたちの目には、“気はやさしくて力持ちのおっちゃん”と映っているのではないのでしょうか。

柔道で鍛えたがっしりした体格は、66歳の年齢を感じさせない若々しさで、明るく生き生きとした眼差しは、接する人に信頼感をもたらします。そのエネルギーの源は、新しい経験・知識をどんどん取り込み、それを糧として前向きに生きて行く積極性にあります。

島原さんは、昭和60年に入居が始まって間もない西神中央・糍台に居を構え、団地の管理組合の理事長に、平成3年から糍台ふれあいのまちづくり協議会の地域福祉活動に副委員長として加わり、平成12年から5年間委員長を務めました。街が発展するにつれ、活動の場は、学校評議委員、青少年育成協議会、民生委員児童委員協議会、防犯協会、西警察署ふれあいの会、ふれあい公園管理会、西神中央自治連合協議会、と縦横につながり、まちづくりボランティアの中心として、新生の街-西神中央に人々のふれあいの場を着実に広げていきました。



なにごとにもプラス思考です。平成15年に定年を迎えた公務員生活では、数度の転勤生活も苦にせず、家具の移動、網戸、ふすま・障子の張替え、床のワックス掛け、生活に必要な防水一級などの特技を身につける絶好の機会とされました。31歳の時には、鳥取県内への転勤で3ヶ月かけて約70平方メートルの家を自力で建築するなどの“離れ業”もやってのけました。



島原さんは「地域のお役に立ちたい」との気持ちから、第二の人生にボランティアの道を選びましたが、それには、これまでの活動、経験が伏線となっていたのです。

定年後も、受身になることなく植木剪定技能研修、ヘルパー2級、パソコンの技能を習得。転勤生活で得た特技と併せ個人ボランティアとしての条件を整え、17年9月、神戸市シルバー人材センターに会員登録をしました。

現役時代の体験から「すぐやる課・便利班」のアイデアを持っていましたが、人材センターでも西神中央をモデル地区として地域貢献班を作ることを検討中で、渡りに船で構想が実現し、19年10月から地域貢献班の初代班長として活動を開始しました。習得した知識・技術を生かし、高齢者の申し込みに、即、出勤です。「すぐ依頼を受けてくれて、きっちり処理してくれる」と感謝の声がセンターに寄せられており、地域のニーズをしっかり受け止めています。

西神中央自治連合協議会は、昨年3月「知って得-安全・安心ハンドブック」(54ページ)を出版しましたが、島原さんは、協議会副会長(安全・安心まちづくり担当)として、取材、執筆、編集まで、ほとんど一人で作成しました。20年に及ぶ経験からの目配りの行き届いた便利な内容になっており、地域の人々には嬉しいプレゼントになりました。

サツマイモ、ジャガイモ作りを通じ「イモ先生」と慕われる子供たちとの交わりや高齢者とのふれあい、まちづくりの会合など多忙な日程に追われる日々ですが、「ボランティアは楽しい。とりあえず百歳まで現役の気持ちで地域の人々と助け合いながら仲良く暮らしたいですね」と朗らかに笑いながら語る島原さんは、これからも、持ち前のパイオニア精神で、未知の世界にシルバー世代の新たな可能性を見つけ出し、実現していくことでしょう。



島原さん



いもほり

センター
だ・よ・り

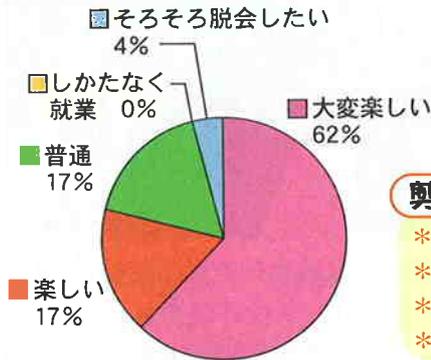
北区センター

“北区センターに登録会員の皆様へ”

剪定就業会員はがんばってます!

あなたの剪定の技術は眠ってませんか!

剪定班のアンケートの結果(平成20年9月26日調査)北区センターの剪定班のアンケートの結果、就業により「楽しい・働き甲斐」があると思われる会員がなんと79%。



大変楽しく働きがいがある	15人	62%
まあまあ、楽しい	4人	17%
普通	4人	17%
しかたなく就業している	0人	0%
そろそろ会員を脱会しようかなと思ってる	1人	4%
合計	24人	100%

剪定会員の生の声

- * お客様から「庭がきれいになった」と感謝されるのでやりがいを感じる。
- * 剪定は好きなので1日が楽しく過ごせ気分リフレッシュ。
- * 体調がよくなり体力維持ができいつまでも健康である。
- * 剪定技術が習得できより高度な剪定にチャレンジする喜びがある。

北区センターは神戸市では一番広いエリアを担当しております。広いエリアを担当しているにも拘らず、剪定に就業している会員は28名です。昨年の9月時点で12月まで予約で満杯になり28名で、お客様のご要望にタイムリーなお応えができず、北区市民に多大なるご迷惑をおかけしたことは、大変申し訳なく思っております。

ご承知のように剪定は空間芸術と言われるほど奥が深く誰でも簡単にできるものではありません。剪定知識・技術・経験でいかにお庭をデザインするかという創造性を発揮し、お客様のニーズを満足させる。この事が、お客様に喜んでいただいた時は、他に代えがたい喜びとなり、明日の活力の源となり、毎日のビールが、食事がおいしいのです。

就業の合間のなごやかさ



人の幸せは「愛され」「褒められ」「役に立ち」「必要とされる」(読売新聞抜粋)とも言われています。まさに剪定会員に当てはまる言葉です。

どうか皆様方の心身共に活力の維持、また剪定を希望される北区市民のために立ち上がってみませんか。ぜひ剪定の仲間に入り一緒に就業しましょう。あなたを待っています。

剪定班と本部の就業懇談会



剪定班だけのセミナー(三角巾実技場面)



あなたの剪定の技術を北区センターで発揮してみませんか!!

剪定担当(北区センター) 菊地 芳雄 問合せ電話 078-596-3181

